

3D効果で注目率を大幅に上げる  
 株式会社オリコム  
**「CG方式3D電飾ボード」**  
 東京メトロの主要駅で展開中

交通広告において業界トップクラスのシェアを誇る総合広告代理店、株式会社オリコム（東京・港区、永井秀雄社長）は、広告媒体としては極めて特殊な立体映像を利用した“3D電飾ボード”を、人形町・八丁堀・銀座1丁目の各駅で2004年5月より試験公開しておりましたが、通行人の注目度が高く好評のため、2004年9月1日より東京メトロ銀座駅他16駅20面にて本格展開を開始しました。3D画像を使った電飾ボードで、一度にこれだけの数で展開するのは、東京メトロではもちろん、全国でも初めての試みとなります。

“3D電飾ボード”とは、デザイン全体をレイヤー（重なり）状態に加工することにより、盤面からの突出、盤面の奥行きという両面への見え方を可能にした電飾ボードです。ロゴ等、読ませる文字についてはゼロ面（突出なし）とし、その他の画像は完全CG化することにより、自在に配置することができます。

この特殊加工盤面を、増強（光量を増加）した施設にはめ込むことにより、非常にクリアでインパクトの強い3Dとなります。

## &lt; イメージ図 &gt;

## &lt; モニターの画像 &gt;

添付のCD-ROMをパソコンにて再生して、ご覧ください。



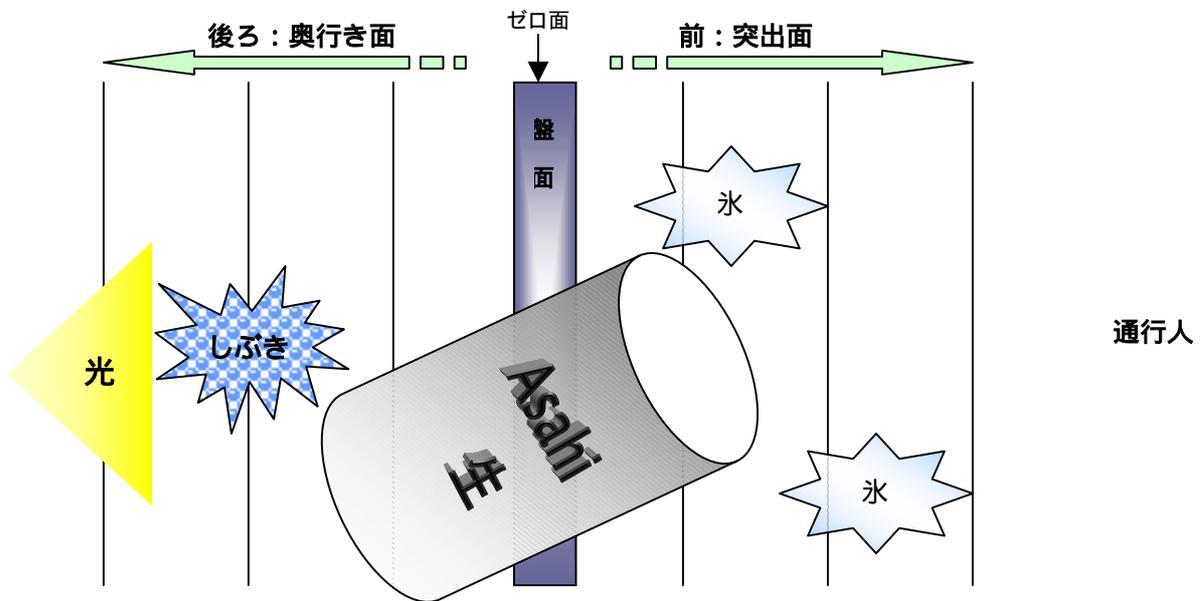
実際は立体的に見えるのがご確認いただけます。



見え方としてはこのようなイメージですが、見る人によって多少異なります。

## < “CG方式3D電飾ボード” について >

- 【期 間】 2004年8月18日(水)～2005年1月31日(月)
- 【展 開】
- ・ 銀座線 = 日本橋、浅草、上野
  - ・ 丸の内線 = 銀座(2ヶ所)、赤坂見附(2ヶ所)  
新宿(2ヶ所)、新宿三丁目、池袋
  - ・ 日比谷線 = 銀座、人形町、八丁堀
  - ・ 半蔵門線 = 渋谷(2ヶ所)、表参道
  - ・ 東西線 = 日本橋、大手町
  - ・ 有楽町線 = 銀座一丁目
- 【サイズ】 1105～1200 mm × 1535～1690 mm
- 【構造図】



## < 株式会社オリコム 会社概要 >

所在地： 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター 創業： 大正 11 年 4 月 (1922 年)  
代表者： 代表取締役社長 永井 秀雄 従業員数： 約 300 名 (2004 年 4 月現在)  
資本金： 1 億 6,500 万円 売上高： 450 億円 (平成 14 年度)

### < 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社オリコム 経営統括グループ 担当：椎名 TEL：03 - 6733 - 2021

<ご参考資料>

### 3D電飾ボードを見た方の印象

アンケート調査から

すごいと感じた。  
すごい立体感だと思った。  
インパクトがある。  
広告に迫力がある。  
飛び出ているので目立つ。  
3Dが目新しく良いと思う。

一瞬立ち止まって見てしまう。  
こんな広告見たことないと思った。  
立体感があって派手。  
飛び出してくるのが印象に残った。  
氷のかけらのようなものが印象に残る。  
立体的ではっきり見える。

氷が新鮮さを表している。  
氷がワーツと浮いているのでビックリした。  
驚いた。  
刺激が強い。これは特にやりすぎ。

珍しい。  
きれい。  
光の加減と立体のキラキラがきれいで良かった。

楽しいと思う。  
楽しんで見られて良い

触ろうとしている人が結構いて、何か訴えるものがあるんだと思う  
飛び出ている所触った。  
どうなっているのか触りたくなる。商品も手に取りたくなる  
この広告を見ている人を見るのが面白い。男性の方がよく触ったりしている

缶が、氷も飛びだしているように見えた。  
ポスターの方が追いかけてくる感じがした。  
動いているなと思った。

今はまだ立体広告が少ないので頭に残る。  
1～2週間前に見たのに覚えていたので印象に残りやすい